員の同意を得て還付を行いました。

質問 課税誤りが確認され、関係職員に対しどのような処分をしたのか、又それが適正であったのか、経過を伺います。

答弁 原因は特定できませんでした。個々の職員の特定はできなかったが、組織体としてのミスはまちがいないので退職者除き歴代の管理職を対象に2名を訓告処分としました。

質問 歳入について、不納欠損が多いと思うが伺います。

答弁 一般会計市税分の欠損額は4119万6千円であり、2925件ありますが、理由は財産が無くなった人、生活困窮世帯、行方不明等があります。

質問 簡易郵便局は市内に24ヶ所ありますが、コンビニ収納のようにできないのか伺います。

答弁 平成20年度より固定資産税、国民保険税も実施していますが、簡易郵便局でも来年は可能になりそうです。

質問 地区センターが全地区で設置されるが、奥州市の方向性等について、センター長や振興会長を含め市との話し合いの場をもつべきではないか伺います。

答弁 全市がセンター化という事で教育と一体的に推進していく訳で、それに地区センター機能も加わり課題も多く、その中で地区と地区の交流も含めて課題を把握し、話し合いをしてまいります。

平成19年に新しくなった玉里地区センター（江刺区）

質問 納税貯蓄組合に対する効果と補助金について伺います。

答弁 市全体の税の調定額の32％であり、その分が納税組合で努力している事になります。納税組合の納付率は96・87％、組合に入っていない所の納付率は93・73％です。これの差が3・14％で金額にして1億2450万円が増収分と考えており、補助金は国保分で2300万円、事務費補助金は3598万円程です。

質問 国民健康保険税、固定資産税については平成20年度に統一する事になっていますが、激変緩和で更にのびるとの事ですが、例として一番低い衣川区を100％とした場合、水沢区は130％であり、不公平という市民の声があるが伺います。

答弁 国保税については不均一課税の段階においての各区の統計的な意味での負担金額に差があるという事は事実です。

教育厚生部門

質問 市立幼稚園の水洗化率はどうなっていますか。

答弁 市立16園のうち5園が未接続で、水洗化率68・8％です。今年度、前沢南幼稚園を下水道に、前沢北幼稚園を農業集落排水に接続する予定です。8月に文部科学省より補助内定通知がありました。

質問 安心・安全を最優先に地場産物や旬の食材の活用、郷土食を取り入れた学校給食について、どういう状況か伺います。

答弁 栄養士の皆さんが研究会をしながら取り組んでいます。地場産のものを子供たちに与えながら、地域の方が苦労して作っていることを学ばせたいと考えています。

質問 「地場産のもの」と言っても、なかなか進みません。農家と作付けまでさかのぼってきめ細かい協議をすることが必要です。具体的につめて頂きたいが伺います。

答弁 作付け計画について農家と話し合いたいと思います。現在必要な資料を集めています。他の部署と力を合わせ進めていきますのでご期待頂きたいと思います。

質問 平成20年度給食費を統一していますが、食材費が値上がりして心配です。状況について伺います。

答弁 小麦は3倍になっており大変厳しくなっています。デザートを減らしたりしています。今年給食費を統一したこともあり値上げが検討できないでいます。そこで「弁当の日」を月一回設け給食日数を減らすこととしています。保護者からは、賛否の意見をいただいています。

質問 公民館の分館について無くさない方向で検討されているか伺います。

答弁 地区センターと公民館が一緒になるということで進めています。分館は社会教育をすみずみまで徹底するという役割を果たしてきました。ここ数年は、分館のあり方について、費用だけでなく活用のあり方について検討していくということにしています。

質問 分館はどこに幾つあるか伺